

重大な事故防止に向けた安全対策

【 30 なぎなた 】

1 競技特性

「なぎなた」という長物(2m15cm～2m25cm)を繰り出し、繰り込み、持ち替え、繰り返しなどの動作をしながら、開き足、踏み替え足等体さばきによって、「なぎなた」という長物(2m15cm～2m25cm)を繰り出し、繰り込み持ち替え、振り返しなどの動作をしながら、開き足、踏み替え足等体さばきによって、相手と攻防を繰り返す中、技術を競い合う競技である。その運動は前後左右の直線の運動に終わらず、長物であることから、円運動の加速度を利用する動作が多い。敏捷、巧緻な動作を要求され、身体的、精神的にもかなり高度な修練が必要である。

また礼儀を尊ぶことを強く要求される。練習を休まず継続し、積み重ねることの大切さを理解することが大切である。競技年齢、修練の年齢が長く持続でき、生涯スポーツとして適切な競技である。生涯スポーツという特性もあり、高校生においては、練習する相手が幼児の時もあれば、高齢者の場合もあり得る。相手の年齢や熟練度にしっかり対応し、練習をしていくことが望まれる。相手を思いやる心や尊重する気持ちがとても大切な競技である。

2 想定される事故事例と予防策

(1) 主として施設・設備・用具が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> 床面の整備や点検不足 	<ul style="list-style-type: none"> 爪の剥離 	<ul style="list-style-type: none"> 練習の前後に丁寧にモップがけをする。体育館などは各種支柱の蓋や器具取り付けの穴をビニールテープやラインテープでふさぐ。
<ul style="list-style-type: none"> 防具の保管状態 	<ul style="list-style-type: none"> 湿疹 かぶれ 異臭 	<ul style="list-style-type: none"> 防具使用後は、風通しの良いところに陰干しまたは保管する。 アルコール殺菌スプレーや消臭スプレーを使用する。
<ul style="list-style-type: none"> なぎなたの破損 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し傷 	<ul style="list-style-type: none"> なぎなたの先端は竹製なので、ささくれができて破片が落ちることがある。破片が足裏に刺さる危険性がある。練習の前後に手入れを欠かさないようにする。
<ul style="list-style-type: none"> スネ当ての破損 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し傷 	<ul style="list-style-type: none"> スネ当ての一部は竹製なので、割れてひびが入っていることがある。ささくれができて破片が落ちて、足裏に刺さる危険性がある。壊れる前に補修する。

(2) 主として活動内容が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> 足裏に水泡ができて、さらに練習を続けると破れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 足裏の水泡 足裏の皮膚の破れ 	<ul style="list-style-type: none"> 足の裏の皮膚が弱い初心者が多いケガ。薬品で消毒して清潔に保ち、テーピングしておく。さらに保護のため稽古用足袋を着用するようにする。
<ul style="list-style-type: none"> 未熟な者が、防具のない場所を打つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 打撲 	<ul style="list-style-type: none"> 基本にかなった打ち(姿勢、手の位置、手の内)の未熟や、相手との間がわからず接近戦が多い段階で起こりがちである。技術を向上させる。
<ul style="list-style-type: none"> 体さばきが悪く、姿勢と打ちが一致しない場合に、捻れが生じて膝に負担がかかり捻挫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 膝関節内側副靭帯捻挫 腰痛 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい体さばきができるように基本練習を毎日行う。
<ul style="list-style-type: none"> 打ち手でなぎなたを操作できず、添え手で打つために無理な力が腕や肩に掛かり筋肉痛になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 腕、肩の強度筋肉痛 	<ul style="list-style-type: none"> 打つ意識が強すぎると、添え手で打つことになる。基本練習を積み、打ち手でなぎなたを操作できるようにする。

(3) 主として環境条件等が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none">・ 梅雨の時期の床・ 乾燥時期のなごなたのささくれ・ Jアラート発令時の対応	<ul style="list-style-type: none">・ 骨折	<ul style="list-style-type: none">・ 湿気で濡れた床を乾かすよう、扇風機を回す。・ 稽古前の各自への注意喚起・ 発令時の対応や様々な場面での避難方法について確認し、事前に参加者等に周知しておく。また情報収集の手段や、関係者および保護者等との連絡方法について準備しておく。

安全確認チェックリスト

【 30 なぎなた 】

競技会名	
期 日	平成 年 月 日 ()
会 場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設・ 設備・ 用具	床は安全か	
	床板に亀裂や隆起はないか	
	支柱用の金具はふさがれているか	
	なぎなたが、ささくれしていないか	
	面紐、小手紐、胴紐は切れていないか	
	小手の内皮は破れていないか	
	防具に破損はないか	
	稽古着、袴、防具は体に合っているか	
活動 内容	状況に応じて足袋、サポーターなどを使用しているか	
	体調の悪い選手、けがをしている選手はいないか	
	着装は正しいか	
	無理な姿勢で稽古をしていないか	
	ウォーミングアップ、クーリングダウンは十分か	
	選手が稽古内容、稽古方法、稽古隊形を把握しているか	
	選手同士がぶつからないように間隔をとっているか	
	選手同士がぶつかりそうになったら大きな声で注意しているか	
	水分補給や休息は適切に取っているか	
練習後は交通事故に気をつけ帰宅できたか		
環境 条件 等	湿気のため床は湿っていないか	
	風通しは良いか	
	地震・火災が起こったときの避難経路は確保されているか	
発令 時 対 応	主催者や指導者がJアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか。	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか。	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか。	

反省・報告(事故、ヒヤリ・ハット含む)